

ビグアナイド薬とヨード造影剤の併用について

従来から、ビグアナイド薬服薬中の患者にヨード造影剤を投与した場合に急性腎不全から乳酸アシドーシスを起こす危険性があるため、ビグアナイド薬とヨード造影剤は併用注意とされてきましたが、2009年5月の薬物添付文書の改訂で、「ヨード造影剤を用いて検査を行う患者にはメトホルミンは投与禁忌」となり、「メトホルミンが投与されている患者には緊急の造影検査が行えなくなる可能性」などについて、医療現場で混乱が生じておりました。今回、7月1日より薬物添付文書が再改訂されて、「ヨード造影剤を用いて検査を行う患者においては、本剤の併用により乳酸アシドーシスを起こすことがあるので、検査前は本剤の投与を一時的に中止すること（ただし、緊急に検査を行う必要がある場合を除く）。ヨード造影剤投与後48時間は本剤の投与を再開しないこと。なお、投与再開時には、患者の状態に注意すること。」となりました。緊急の造影検査などの対応についても明確化されており、日常診療にも齟齬がない内容になっております。今後、本薬物添付文書に則った使用をお願いいたします。

平成21年7月1日

(社)日本糖尿病学会理事会

【改訂内容】

現行	改訂内容												
<p>禁忌（次の患者には投与しないこと）</p> <p>(1)次に示す状態の患者〔乳酸アシドーシスを起こしやすい。〕</p> <p>4)ヨード造影剤（イオパミドール、イオヘキソール、イオメプロール等）を用いて検査を行う患者〔「相互作用」の項参照〕</p>	<p>禁忌（次の患者には投与しないこと）</p> <p>(1)次に示す状態の患者〔乳酸アシドーシスを起こしやすい。〕</p>												
<p>2. 重要な基本的注意</p>	<p>2. 重要な基本的注意</p> <p>(2)ヨード造影剤を用いて検査を行う患者においては、本剤の併用により乳酸アシドーシスを起こすことがあるので、検査前は本剤の投与を一時的に中止すること（ただし、緊急に検査を行う必要がある場合を除く）。ヨード造影剤投与後48時間は本剤の投与を再開しないこと。なお、投与再開時には、患者の状態に注意すること。（「相互作用」の項参照）</p>												
<p>3. 相互作用</p> <p>(1) 併用禁忌（併用しないこと）</p> <table border="1" data-bbox="147 850 1043 1121"> <thead> <tr> <th>薬剤名等</th> <th>臨床症状・措置方法</th> <th>機序・危険因子</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>ヨード造影剤 イオパミドール （イオパミロン） イオヘキソール （オムニパーク） イオメプロール （イオメロン）等</td> <td>併用により乳酸アシドーシスを起こすことがある。 ヨード造影剤を用いて検査を行う場合は、本剤の投与を一時的に中止すること。</td> <td>腎機能が低下し、本剤の排泄が低下することが考えられている。</td> </tr> </tbody> </table>	薬剤名等	臨床症状・措置方法	機序・危険因子	ヨード造影剤 イオパミドール （イオパミロン） イオヘキソール （オムニパーク） イオメプロール （イオメロン）等	併用により乳酸アシドーシスを起こすことがある。 ヨード造影剤を用いて検査を行う場合は、本剤の投与を一時的に中止すること。	腎機能が低下し、本剤の排泄が低下することが考えられている。	<p>3. 相互作用</p> <p>併用禁忌の項は削除する。</p> <p>併用注意（併用に注意すること）</p> <table border="1" data-bbox="1115 914 2051 1209"> <thead> <tr> <th>薬剤名等</th> <th>臨床症状・措置方法</th> <th>機序・危険因子</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>ヨード造影剤</td> <td>併用により乳酸アシドーシスを起こすことがある。 ヨード造影剤を用いて検査を行う場合には、本剤の投与を一時的に中止すること。（「重要な基本的注意」の項参照）</td> <td>腎機能が低下し、本剤の排泄が低下することが考えられている。</td> </tr> </tbody> </table>	薬剤名等	臨床症状・措置方法	機序・危険因子	ヨード造影剤	併用により乳酸アシドーシスを起こすことがある。 ヨード造影剤を用いて検査を行う場合には、本剤の投与を一時的に中止すること。（「重要な基本的注意」の項参照）	腎機能が低下し、本剤の排泄が低下することが考えられている。
薬剤名等	臨床症状・措置方法	機序・危険因子											
ヨード造影剤 イオパミドール （イオパミロン） イオヘキソール （オムニパーク） イオメプロール （イオメロン）等	併用により乳酸アシドーシスを起こすことがある。 ヨード造影剤を用いて検査を行う場合は、本剤の投与を一時的に中止すること。	腎機能が低下し、本剤の排泄が低下することが考えられている。											
薬剤名等	臨床症状・措置方法	機序・危険因子											
ヨード造影剤	併用により乳酸アシドーシスを起こすことがある。 ヨード造影剤を用いて検査を行う場合には、本剤の投与を一時的に中止すること。（「重要な基本的注意」の項参照）	腎機能が低下し、本剤の排泄が低下することが考えられている。											